

都市再生整備計画事業 事後評価シート 大木地区

平成31年2月

沖縄県読谷村

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	沖縄県		市町村名	読谷村		地区名	大木地区		面積		19.7ha			
交付期間	平成26年度～平成30年度		事後評価実施時期		平成30年度		交付対象事業費	377百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名												
		基幹事業	道路(区画道路8.5-3号、8.5-4号、6-9号、6-10号、6-11号、緑道1号、緑道2号、緑道3号、緑道4号)、地域生活基盤施設(情報板)、高質空間形成施設(歩道整備)											
		提案事業	地域創造支援事業(公園施設整備事業)、事業活用調査(事業効果分析調査)、まちづくり活動推進事業(地区計画素案策定、公園・緑道計画ワークショップ)											
			事業名					削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(情報板)					事業遅延により削除				影響なし		
		提案事業	なし					—				—		
	新たに追加した事業	基幹事業	なし					—				—		
		提案事業	なし					—				—		
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—								
変更	—													
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	地区内定着人口	人	104	H25	179	H30	—	104	×	あり なし	●	事業の遅延により道路、宅地等の基盤整備が未完成で供用されていないため、目標の数値に至っていない。また、区画整理地区内の使用収益が開始されるのは、第1期計画完了以降であり今期の定着人口は見込めない。	—
	指標2	土地利用可能率	%	8	H25	28	H30	—	8	×	あり なし	●	事業の遅延により道路、宅地等の基盤整備が未完成で供用されていないため、区画整理地区内における土地利用することができないため目標の数値に至っていない。また、区画整理地区内の使用収益が開始されるのは、第1期計画完了以降であり今期の区画整理地区内の土地利用は見込めない。	—
	指標3	緑道歩行者交通量	人/12h	0	H25	93	H30	—	0	×	あり なし	●	事業の遅延により緑道等が未完成で供用されていないため、地区内における歩行者通行量を計測することができないため目標の数値に至っていない。また、緑道の整備は、第1期計画完了以降であり今期の歩行者通行量は見込めない。	—
指標4	まちづくり組織の設置数	件	0	H25	3	H30	—	3	○	あり なし		区画整理が設立されたことやまちづくりの組織化を図ることができたことから、3団体を組織することができ、まちづくりの機運が高まった。	—	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	その他の数値指標1						—						—	
	その他の数値指標2						—						—	
	その他の数値指標3						—						—	
その他の数値指標4						—						—		
4)定性的な効果発現状況	道路、緑道、2号公園については、設計の実施など、事業完成に向けて事業を着実に進めている。また、地区計画検討委員会の開催や地域住民等が参加したワークショップの開催など地域住民の賑わいの創出に寄与している。 まちづくり委員会が設置され、定期的にも開催されるなどまちづくりに対する期待は高まっている。 パンフレット、リーフレットを通じて広く住民に周知することができた。													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	中間モニタリング(事業進捗状況の確認)		都市再生整備計画に記載し、実施できた				●						
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	・読谷村大木地区土地区画整理組合(三役会、理事会、総会) ・まちづくり協議会 ・地区計画検討委員会及びワークショップ ・公園に関するアンケート		都市再生整備計画に記載し、実施できた				●						
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
持続的なまちづくり体制の構築	・読谷村大木土地区画整理組合による継続的なまちづくり ・整備した施設(緑道等)の維持管理など継続的なまちづくりについて管理体制などの立ち上げを検討する。		都市再生整備計画に記載し、実施できた				●							
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●							

様式2-2 地区の概要

大木地区(沖縄県読谷村) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値
大目標 読谷村の玄関口にふさわしい緑豊かな潤いのある良好な市街地の形成 目標1 快適な居住環境の形成 目標2 良好な宅地の供給 目標3 緑豊かな市街地の形成		地区内定住人口	単位:人	104	H25	179	H30	104 H30
		土地利用可能率	単位:%	8	H25	28	H30	8 H30
		緑道歩行者通行量	単位:人/12h	0	H25	93	H30	0 H30
		まちづくり組織の設置数	単位:件	0	H25	3	H30	3 H30
○関連事業 読谷村公共下水道事業(地区全域) ○関連事業 読谷村大木土地区画整理事業(地区全域) ○関連事業 村道大木喜名線整備事業 ○関連事業 国道58号バイパス整備事業 ○関連事業 赤犬子・展望広場整備事業 ■基幹事業 道路事業 ・区画道路5路線整備「用地、調査、築造」 (図中表示 〓) □提案事業 事業活用調査 ・事業効果分析調査 □提案事業 まちづくり活動推進事業 ・地区計画素案策定 【まちづくり活動推進】地区計画素案策定 地区計画ワークショップ 【道路】区画道路5路線 道路(区画道路) ■基幹事業 道路事業 ・緑道4路線整備「用地費、調査」 (図中表示 〓) ■基幹事業 高質空間形成施設「調査」 ・緑化施設等 (植栽・ストリートファニチャー等 緑道内に設置) □提案事業 まちづくり活動推進事業 ・公園・緑道計画ワークショップ □提案事業 地域創造支援事業 ・公園施設整備事業「調査」 【まちづくり活動推進】地区計画素案策定 地区計画検討委員会 凡例 〓 基幹事業 □ 提案事業 ○ 関連事業 都市再生整備計画区域 土地区画整理事業区域								
まちの課題の変化	・区画道路、緑道、2号公園については、設計の実施など、事業完成に向けて事業を着実に進めている。(施設整備は計画年度内で未完成) ・まちづくりのルールとなる地区計画を作成するにあたって、学識経験者や専門家が中心となった地区計画検討委員会の開催や地域住民等が参加したワークショップの開催等、住民の主体的な活動につながり、地域住民のにぎわいの創出に寄与している。また、地区計画等パンフレット、リーフレットを通じて広く住民へ周知することができた。 ・公園・緑地についてのアンケート調査等行政・住民の協働による取り組みが進んでいる。 ・さらに、月2回程度のまちづくり委員会の開催等まちづくりの気運が高まっている。							
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	・まちづくり活動を継続する ・国道の早期整備と廃棄物の処理を推進し、区画道路、緑道、2号公園の整備により健全な市街地整備を図る。 ・緑道や2号公園の整備により、歩行者ネットワークの形成を進め、緑豊かな環境再生と良好な住環境整備を進める。 ・外から訪れやすさ、分かりやすさ、行きやすさの改善を進める。							